

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月11日

学校名 福井市東安居小学校

校長氏名 北 和 幸

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 東安居地区の環境や地球環境について学習することで、自然や地球を守ろうとする心と態度を育てます。
- ② 学校で水や電気などの資源を大切に使い、節電・節水に努めます。
- ③ 学校のごみを減らすためにごみの分別回収を行い、リサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 環境学習
 - ・ヘチマやアサガオを育て、緑のカーテンを作ります。その成長を観察し、緑のカーテンの効果について学びます。
- ② 節電・節水の取組
 - ・「福井市東安居小学校環境方針」と各クラスで考えた環境ISO取組のめあてを掲示します。
 - ・環境委員会で作った節電・節水を呼びかける掲示物を校内に掲示し、全校に節電・節水を呼びかけます。
 - ・花壇や畑の水やりには、雨水タンクの雨水を利用します。
- ③ 分別回収やリサイクル運動
 - ・「燃やせないごみボックス」を各教室に設置し、分別して回収します。
 - ・給食時に、ストローの袋とパンの袋を、給食プラゴミとして分別回収します。
 - ・新聞紙で作った「リサイクルボックス」を各教室と職員室に設置し、不要になった紙を資源として再利用します。

★ ESDポイント

- ・③の分別回収では、児童一人ひとりが限られた資源の大切さを知り、自分たちの将来のために有効に使用しなければならないことを理解する。(有限性・公平性)
- ・③のリサイクル運動では、家庭や地域とも連携しながら、不要になったものを再利用し有効に使う力を身につける。(多面的)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 東安居小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 東安居地区の環境や地球環境について学習することで、自然や地球を守ろうとする心と態度を育てます。 ② 学校で水や電気などの資源を大切に使い、節電・節水に努めます。 ③ 学校のごみを減らすためにごみの分別回収を行い、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ① 環境学習 ・5年生が総合的な学習の時間に、ヘチマとアサガオを育て、緑のカーテンをつくりました。成長の過程を観察したり、環境への効果や影響を学習したりしました。    <グリーンカーテンの苗植え 5月> <グリーンカーテン 9月> <ISO 取組のめあて掲示> ② 節電・節水の取組 ・「福井市東安居小学校環境方針」と各クラスで考えた環境ISOの取組のめあてを掲示しました。 ・花壇の花や植物や農作物の水やりには、雨水タンクの雨水を利用しました。  <雨水の利用> ③ 分別回収やリサイクル運動 ・「燃やせないごみボックス」を各教室に設置し、燃やせるごみと分別して回収しました。 ・給食の時に、ストローの入っていた袋とパンの袋を集め、給食プラゴミとして分別回収しました。 ・「リサイクルボックス」を各教室と職員室に設置し、不要になった紙を資源として再利用できるようにしました。  <各クラス設置のリサイクルボックス>  <プラスチックゴミの分別回収>	

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習では、限られた資源があることや、環境を維持することの難しさ、環境保護のために自分たちにできることを考えることができました。（有限性・責任性）

3
見直し

【具体的効果】

①②の取組の中で、グリーンカーテンを育てたり、環境について考える時間をもったりすることで、環境悪化や環境保護が自分たちにとって身近であることに気付くことができました。特に、雨水の活用法を学ぶことを通して、水にも限りがあることや日々想像以上の水が使われていることに驚き、節水を心がけたいと考える児童が増えました。

【改善点】

今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アルミ缶の回収が実施できませんでした。

保護者にも、学校での取組を今まで以上に広めて、地域の環境に対する意識を高めていきたいです。